

令和5年 3月24日

令和4年度学校評価結果報告書

桶川市立川田谷小学校

校長 須田 肇

1 目指す学校像 笑顔とあいさつ、学びがあふれるきれいな学校

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価 または 学校運営協議会における評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織・運営	1	学校は、学校教育目標の達成に向けて、組織的に取り組んでいる。	A	・目指す学校像「笑顔とあいさつ、学びがあふれるきれいな学校」の更なる具現化に向け、教職員が指導方法を共通理解しながら取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、目標達成に向けて教職員一同が常に努力している。 ・学校教育の達成に向けて分かりやすく取り組んでいると感じる。 ・全職員での目標達成に向けて、今後ともしっかりと取り組んでほしい。 ・コロナ禍において、行事等の見直しは慎重に行ってほしい。
	2	学校は、PDCAのサイクルのもと学級経営・教科経営・分掌経営にあたっている。	A	・感染予防対策を取り、年間指導計画に基づいた教育を確実に実施した。 ・前年度の反省を活かして教育活動の改善を図った。	
	3	学校は、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応できる体制を整えている。	A	・生徒指導推進委員会や教育相談研修会を通して職員全体が共通理解・共通行動をとることができた。	
学習指導	4	学校は、基礎・基本の定着を図るため、児童の実態に基づいた授業改善を行っている。	B	・基礎・基本の定着を図るため、朝の学習時間を行った。また、学習活動の基盤を形成する人間関係の育成を育成するため、道徳教育の指導法の研究を行い、児童相互が互いのよさを認め合う学級風土づくりに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導をはじめ職員、児童が一丸となって一生懸命取り組んでいる。
	5	学校は、一人一人に応じた学習支援を行っている。	A	・算数の少人数指導や、個別支援による指導等により、児童一人一人に寄り添った指導を行った。	
	6	学校は、言語環境の整備に努め、言語活動を充実させた授業展開に努めている。	B	・感染防止対策を取りながら、主体的・対話的な学びを積極的に授業に取り入れ、言語活動の充実を図った。	
生徒指導・教育相談	7	学校は、児童が進んであいさつ、正しい言葉づかいができるように取り組んでいる。	A	・朝のあいさつ運動に年間を通して取り組んでいる。授業の開始、終了時の挨拶や教師の丁寧な言葉遣いは、全教職員が共通行動できた。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は一日のスタートである、まず朝の挨拶から全職員も児童へ元気よくあいさつできるように指導されている。 ・生活の基本となる挨拶はもっと積極的に活動を行い、誰からも素晴らしいと言われる学校を目指してほしい。
	8	学校は、児童に学習規律を身に付けさせ、学習成果を上げている。	B	・学習規律は、教職員間で共通理解しながら指導を行うことができた。	
	9	学校は、日常観察や教育相談を通じて、いじめや不登校の早期発見、解消に努めている。	A	・いじめ防止対策基本方針に則り、全教職員共通理解のもと、組織的にいじめや不登校の早期発見、解消に努めることができた。	
健	10	学校は、児童の体力向上のため	A	・児童が主体的に取り組む朝マラソン	・校区が広いため登下校でも

康 教 育		め、体育授業や体育朝会、外遊 びの奨励等に積極的に取り組 んでいる。		や、体育授業の充実等により、体力 の維持向上を図ることができた。	体力向上になっている。コ ロナ感染予防の手洗い、マ スク着用が徹底されてい る。 ・全職員・全児童が、新型コ ロナウイルス感染防止に取 り組んでおり、学習の保障 がなされている。
	11	学校は、児童に食のバランスの とれた食事の大切さを理解さ せ、食に関する意識を高めさせ ている。	A	・給食指導や生活科、家庭科等で食に 関する指導を行い、一人一人の児童 がバランスよく栄養を摂る大切さ を理解させるため、食に関する指導 を行っている。 ・給食メニューを、毎日ホームペ ージに掲載し、食に関して保護者・ 地域への啓発を行った。	
	12	新型コロナウイルス感染症予 防対策について、職員全体で共 通理解のもと取り組んでいる。	A	・コロナ感染拡大のリスクを伴う活 動については、実施の可否を慎重 に検討した。	
学 習 環 境	13	学校は、計画的・継続的に掲示 物を整え、児童の学習環境を整 えている。	A	・各月の生活目標を各教室や外に掲示 して毎日児童に意識させ、教室の掲 示物は、児童の学習に合わせて計画 的に整えている。また、教室前面の 掲示は最小限にし、児童が学習に集 中できるようにした。	・毎月の全職員による安全点 検が徹底され、トイレの改 修後も清掃が行き届いてい る。
	14	学校は、施設設備の点検を実施 し、危険箇所の改修に努めてい る。	A	・毎月の安全点検や施設設備使用時 の不具合等を迅速に改善するよう に努めている。	
教 職 員 の 資 質 向 上	15	学校は、積極的にサービスの厳正や 情報管理などの事故防止に努め ている。	A	・全教職員参加の倫理確立研修会を 毎月行い、事例研修やアンケート 等により、当事者意識を高めるこ とで事故防止に努めている。	・教職員は公務員として、服 務規律を守り、職務に取り 組んでいる。
	16	学校は、校内研修等を充実させ、 教職員一人一人の資質向上 を図っている。	A	・学校課題研究「主体的に判断し、 よりよい人間関係を築くことが できる児童の育成」では、話し合 いの指導方法を共通理解し、より よい人間関係の作りに活かすこと ができた。	
家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	17	学校は、学校だより、学年だより、 HP等で、保護者や地域に適切な 情報発信をしている。	A	・毎月、学校だより・学年だよりを 発行し家庭・地域に情報発信した。 ・学校ホームページを毎日更新し、 最新情報の発信に努めた。	・情報メールは大変効果的な ため、今後も常に活用して ほしい。 ・校区の人口減少に伴い、家 庭・地域が学校に対する協 力の面で課題が出始めている。 関係者の話し合いの必要 性を感じる。 ・学級減による教職員の人数 が少ない中、保護者・地域 との協力体制をとり、よく 頑張っていることを評価し たい。 ・コロナ禍の活動自粛が少し ずつ緩和されたことに伴 い、活動の見直しが必要で ある。
	18	学校は、学校応援団、ゲストティー チャー等、地域の教育力の活 用に積極的である。	A	・学校応援団の皆様には環境整備・登下 校の見守りをしていただいた。 ・学校応援団学習部やゲストティー チャーの皆様には和風作りや「昔のく らし」、「万作踊り」等の貴重な体験学 習をしていただいた。	
	19	学校は、PTA 活動や地域活動に 協力している。	B	・PTA資源回収に参加や学校運営 協議会で協議等により、学校と家 庭・地域が連携して児童の安全と 健全育成を行っている。	

*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。